

国際会議から

EURONOISE 2012

本会議は、欧州で開催されている国際会議で、今年で9回目を数えます。騒音制御に関する会議としては欧州最大のもので、騒音低減や人体に与える騒音の影響評価などについての技術交流を目的としています。今回は、世界38ヶ国からオーラルおよびポスターセッションを合わせて300件ほどの発表がありました。

著者は、鉄道の一部の曲線軌道で発生する10kHz以上の周波数成分を含む高周波音に関する発表を行いました。鉄道騒音セッションの発表は、例年よりも少ない3件しかなく非常に残念でしたが、最近の欧州では騒音マッピング（住民がどの程度騒音公害にさらされているかを示す包括的なマップ）に対する関心が高く、鉄道をはじめとした交通機関から発生

する騒音の予測技術が多く適用されていることを実感しました。また、新幹線のパンタグラフ舟体からの空



プラハ市内を走行する新型トラム



川口 二俊
環境工学研究部
騒音解析研究室
研究員

て、鉄道総研で検討を進めているプラズマアクチュエータを航空機に適用した研究発表が見られました。

近年、日本において環境面で見直されている路面電車ですが、プラハでは新旧形式のトラムが市内を縦横無尽に走行しており、環境との調和を意識した鉄道の整備がなされている印象を受けました。

正式名称：Ninth European Conference on Noise Control (EURONOISE 2012)

開催国：チェコ共和国（プラハ）

期間：2012/6/10-13

開催頻度：1回/3年

主催：European Acoustics Association (EAA) /Czech Acoustical Society (CAS)

ホームページURL：<http://www.euronoise2012.cz/>